

フォーラム・セミナー報告

第9回 FDフォーラムを開催しました

7月12日に関西大学千里山キャンパスを会場に第9回FDフォーラムを開催しました。名古屋大学高等教育研究センターの中井俊樹氏を講師としてお招きし、『アクティブラーニングの方法、道具、環境』という演題でご講演いただきました。

今回のFDフォーラムでは、中井先生からのご提案により、教授法の知見やノウハウを紹介するだけでなく、フォーラムの参加者に実際に課題を体験していただく時間を持ちました。知識や情報の提供を受けるだけではなくアクティブラーニングの実現には結び付きにくいので、擬似的であっても、それを体験することが具体的なイメージを抱く上で大切であるとの認識からのご発案でした。それと同時に教師が陥りやすい落とし穴に気付くこと、これを回避するために留意すべきことなどについても身を以て知ることになればというご配慮もありました。いずれも教室でアクティブラーニングを実践する上で不

可欠のことがらだと思います。

参加者全員に配られた黄色い紙を教師役の中井氏からの指示にしたがって折ったり切ったりを繰り返したところ、教師が望む最終形にたどりついた参加者は極めて少数でした。参加者が教師のねらい通りに完成させることができないような「仕掛け」の中井氏は意図的に施したのですが、ここに教師が陥りやすい過ちを知るヒントがいくつも隠されていました。この「体験」を皮切りに、学生を主体的・能動的な学習者へと導くために、何が必要なのか、如何なることに留意をしなければならないのかについて、動機づけ・ARCSモデル・衛生理論を盛り込みながら明解にご説明いただきました。その後、お話は教師の発問の意義や価値、ディスカッションを成功させる秘訣など、より具体的な方向へと進み、限界と可能性を正しく認識すれば効果が期待される「小道具」について

日時：7月12日(金) 15:30～17:30
場所：第2学舎2号館 C507教室

もご紹介頂きました。

その他に、学生が能動的に学習するスペースとしてのラーニング・コモンズや図書館についても言及され、アクティブ・ラーニングに関する中井氏の造詣満載の講演会、フォーラムとなりました。

参加者からは、「自分の授業でためてみられる具体的なお話がたくさんあり非常に参考になりました」「多様な視点から、理論・実践をまじえてのお話、大変参考になりました」など、体験型講演会を高く評価する感想をいただきました。

肝要なのは、参加者がこの「体験」を自らの実践に援用するために議論や情報交換を積み重ねていくことだと思います。アクティブ・ラーニングプロジェクトを進行中のCTLでは、そのための機会を提供したいと考えています。まずはCTLにお気軽にお立ち寄りください。

(教育推進部／教育開発支援副センター長 三浦真琴)

Learning Cafeを開催しました

コラボレーションコモンズ“Lincom”のラーニングエリアでは、春学期からラーニングCaféをOPENしています。秋学期は全12回のCaféを開きました。このCaféは、教職員がオーナーをするケースと学生自身がオーナーをするケースがあります。

教職員がオーナーをつとめたCaféでは、プレゼンテーション(担当：岩崎千晶助教)、リーディング(担当：佐々木知彦研究員)、ノートテイキング(担当：

齊尾恭子研究員)をテーマとしました。各Caféでは、学生が日常的な学びの場ですぐに活用できるような汎用的なスキルの育成を目指しています。プレゼンテーションのCaféでは、実際に学生がゼミ大会で発表するスライドを持ちこみ、それに対して皆で議論をしました。リーディングの回では、卒論に取り組んでいる4年生の参加が多く、本を早く読むコツについて皆で意見交換をしました。

CaféのOPENは1時間で、毎回Caféオーナーからの15分程度のお話の後に、グループで話し合う時間を設けています。お茶を飲みながら和気あいあいとすすめていくのが特徴です。短い時間で、みなさんと話し、お菓子をつまみながら学ぶ楽しい時間ラーニングCaféは、来年度春学期もOPENする予定です。みなさん、是非いらしてくださいね!

(教育推進部 岩崎千晶)

文学部3回生：山本綾香、社会学部3回生：大谷智美

学生 Learning Caféでは、グループワークを行う際のスキルの育成をテーマにしました。具体的には、「司会と書記の役割」や、「意見をまとめるにあたって有効なブレインストーミングやKJ法」などを取り上げました。このテーマを設定した理由は、私たちのLAとしての経験に基づいています。私たちは共通教養科目の初年次教育科目であるスタディスキルゼミ(スタスキ)にラーニングアシスタントとして活動しています。授業では、「グループワークってどうすれ

ばいいんだろう…」 「司会ってなに?」「意見ってどうやってまとめるの?」と悩んだり、戸惑っていたりする学生を見かけます。そんな学生の声を聞き、「授業外でも、もっと気軽にスタスキのような学びの場所を作りたい!」と思い、学生 Learning Caféを始めました。実際に企画や運営をしてみると、ワークを考えるのに苦勞するなど大変なことはたくさんあります。しかしこの経験が、自分の学びや成長にもつながっていて、楽しく、やりがいを感じています!



Learning Cafeの様子